

プラド/deck^[デッキ]

プラドデッキ 現場組立セット

この度はプラドデッキをご購入頂きありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、下記の注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、弊社までお問合せ下さい。

日常ご使用して頂くお客様へ



- ◆樹脂製デッキの特徴をご理解頂き、お子様による事故を防止して下さい。
- ◆床板表面は直射日光が当たると高温になります。
- ◆床板表面は濡れたり水が溜まると滑りやすくなります。
- ◆床板が溶けたり変形する恐れがあるので、高温を発生する機器を付近で使わないで下さい。
- ◆床板は帯電しやすいので、静電気の発生にご注意下さい。
- ◆樹脂製の板材は熱膨張により伸縮が発生します。
製品上の特性として、ご理解ご了承下さいますようお願い申し上げます。
- ◆日常のお手入れ、濡らした布で拭き取って下さい。汚れやシミがひどい場合は
中性洗剤を使い、有機系溶剤などは使用しないで下さい。

取付工事担当者様へ



- ◆設置前に梱包内容の過不足、破損の有無をご確認下さい。
- ◆取扱説明書に記載してある施工手順、方法を守って取り付けして下さい。
- ◆この説明書は、工事完了後に必ず管理者様、施主様
(日常のお手入れが可能な方)にお渡し下さい。
お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

別途ご用意して
頂く必要のある物

- ・インパクトドライバー
- ・掘削用の各種工具
- ・柱固定用のモルタルやコンクリート
- ・水平器などの各種工具
- ・束石など基礎部材



本社

〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下ようになっております。



警告

- ・プラスチック（樹脂製品）は一般金属と比べ、熱変形温度が低く（約80℃～95℃）、さらに引火の恐れもありますので火気の近くや、高熱を発生する所では使用しないで下さい。
- ・プラスチック（樹脂製品）は温度差により伸縮します。違う材質と固定する場合、必ず製品に余裕穴をあけ固定して下さい。
- ・デッキ床材は大引き等の骨組材で強度を持たせています。板材をハンマーで叩いたり、特定の場所で飛び跳ねたりし、一点に衝撃が加わりますと、破損事故の原因となります。絶対に行わないで下さい。



注意

- ・天然木材の雰囲気表現する為、個体により色調や柄に差があります、色調などのご指定を頂く事は出来ませんので、ご了承下さい。
- ・天然木材と比べ色あせが少ないですが、雨や紫外線による経年劣化は生じますが、デッキ強度への影響はありません。
- ・デッキ床材や幕板材の芯材部分の色は個体差がありますが、製品上の問題はありません。
- ・デッキ床材や幕板材の目地部分は芯材が見える場合があります。
- ・デッキ床材は材料の特性上、歩行時に板が撓むフワフワとした感覚を感じる場合がありますが、強度上問題はありません。
- ・樹脂を含んだデッキ床材や幕板材は、温度差により収縮膨張をしますので、板同士は密着させないで下さい。
- ・デッキ床材や幕板材の加工時の粉塵は樹脂を含んでおり、土に戻りません。自治体の条例に従い処理して下さい。
- ・大引の切断時の金属切粉は錆発生の原因になります。施工後に十分に清掃し、自治体の条例に従い処理して下さい。
- ・大引切断後の切り口は防錆塗料（別途）を用意して錆発生を防いで下さい。
- ・切断面の切り口はバリを取り除いて下さい。
- ・大引の切断面、穴加工面は錆止めをして下さい。
- ・地上面への設置を目的とした製品です。屋上やベランダ等への設置の場合は当社にお問い合わせ願います。
- ・アルミ束柱の中にコンクリートやモルタル等を流し込まないで下さい。アルミ束柱を埋め込み固定する場合、コンクリートの急結剤などは使用しないで下さい。
- ・デッキ床材や幕板材は、直射日光や雨風の当たる場所を避けて、平坦な場所に保管して下さい。
- ・建築物などへデッキ床材や幕板材を突き付けて施工する際は、必ず10mm以上の隙間を設けて下さい。
- ・電動ドライバーは、トルクを弱にしビスの締めすぎにご注意下さい。
- ・幕板材の固定は、説明書指定の余裕穴をあけて下さい。
- ・エクステリア用に開発、製造された製品です。本来と異なる用途で使用したり、改造をしないで下さい。
- ・デッキ床材は、どのような事情があっても壁や床面に直接取り付けないで下さい。設置面の劣化や性能低下が生じたり、部材が変形する恐れがあります。
- ・フェンス板材は外気温度により伸縮します。組み立て説明書に従い、寸法変化に追従する固定方法にて施工して下さい。
- ・床板固定が出来なくなるため、縦幅（長手方向）の切り詰めはしないで下さい。

お手入れ

- ・普段のお手入れは、濡らした布でふき取って下さい。
- ・汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めてご使用下さい。
- ・表面のホコリ等は、プラド用クリーナーパッド、柔らかいブラシ等で払って下さい。

事前準備

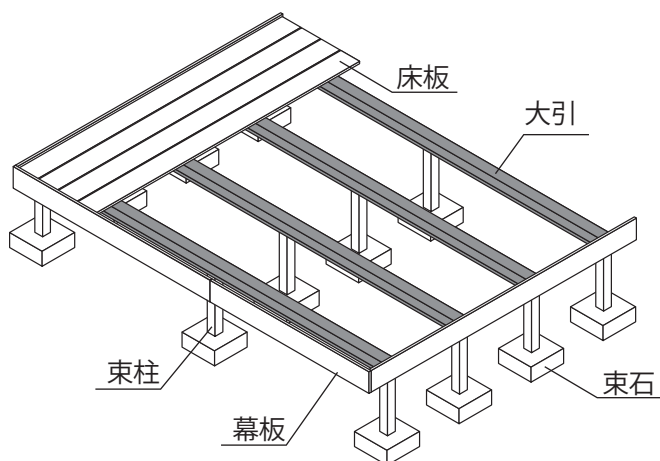
- * 本説明書と各セットは縦貼り用です。床板は大引と垂直方向に1本貼りです。
(9尺セットは、床板を千鳥貼りにして仕上げます。)
- * 横貼り、千鳥貼りは部材の追加購入、加工などが必要です。
- * 各部材 ±5mm 程度の寸法誤差があります。また、気温によって伸縮する場合があります。

取り付けの前に

- ・床板と床板のすき間は6mm確保して下さい。
- ・幕板と床板のすき間は3mm確保して下さい。
- ・大引は500mm以内のピッチを確保して下さい。
- ・束石は沈下しないように固定して下さい。
- ・躯体とのすき間は10mm以上確保して下さい。

プラドデッキ

アルミ製束柱と大引鋼材の骨組に、専用クリップで床板を固定します。



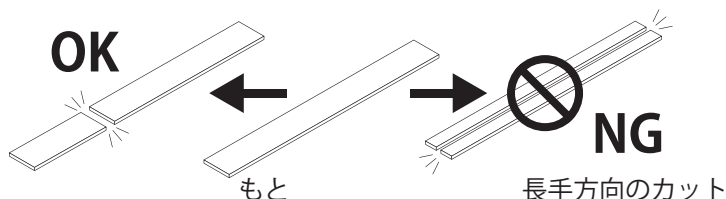
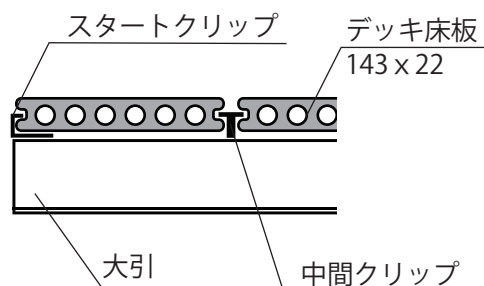
各部の名称

- 束石：柱の土台となる石
- 束柱：デッキを支える柱
- 大引：床材と支える骨材
- 床板：デッキ床面となる板材
- 幕板：デッキ側面の化粧板
- ※束柱長さがL650以上の場合は、筋交いの補強材を追加します。

デッキセットは、幕板以外はカット済みです。

床板カット

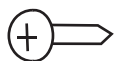
床板は専用クリップで固定するため長手方向のカットはしないで下さい



固定用ビス

固定用のビスは全て付属しており、4種類あります。

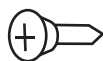
①ナベビス：4×16



主に骨材の固定

骨材
下穴:φ3.5

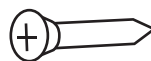
②皿ビス短：3.5×10



スタートクリップの固定

大引
下穴:φ3.0

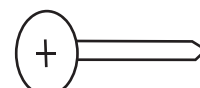
③皿ビス長：3.5×25



中間クリップの固定

大引
下穴:φ3.0

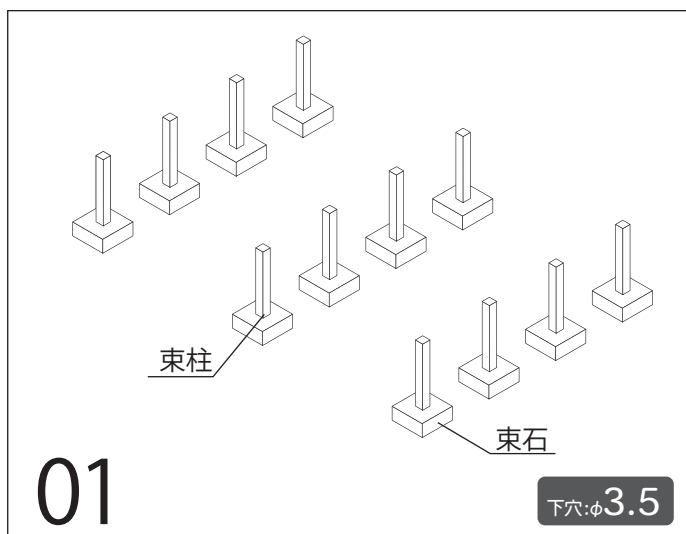
④平頭ビス：4×40



幕板材の固定

幕板
下穴:φ6.0

基礎、柱の設置



設置部分が土壌の場合は、デッキや束石が設置後に沈下しないように注意して下さい。

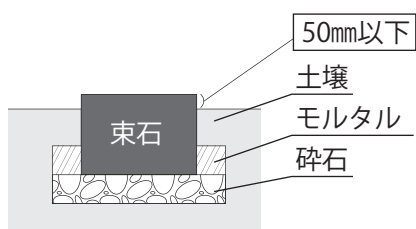
別紙添付の基礎伏図に従い、前面と側面に水系で寸法出しをします。

束石の設置場所を掘って砕石を敷き、しっかり突き固めます。束石は仮置後、水平を出してモルタルで固めます。

束柱の高さ調整（カットなど）して、束石と固定します。束石、束柱は垂直、水平が正しいか、都度確認して下さい。

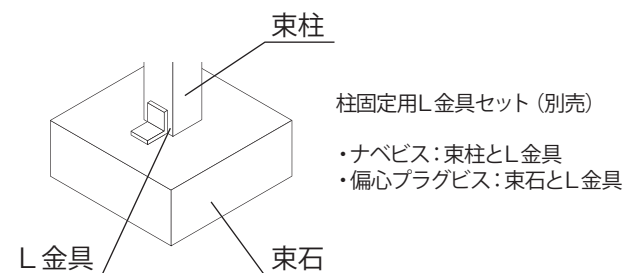
※束柱調整金具を使う場合は、柱ピッチが異なります。

束石 別途ご用意下さい



束石は 150 mm x150 mm角以上で高さは現場状況に応じた物を別途ご用意下さい。

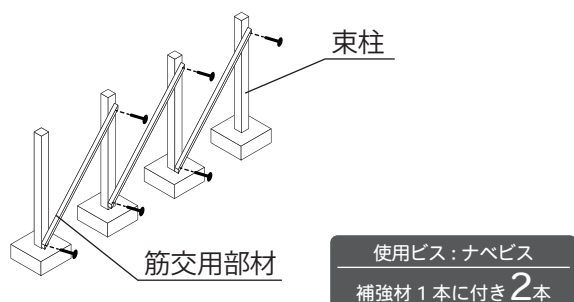
束石と束柱の固定



束石と束柱をL金具で固定します。

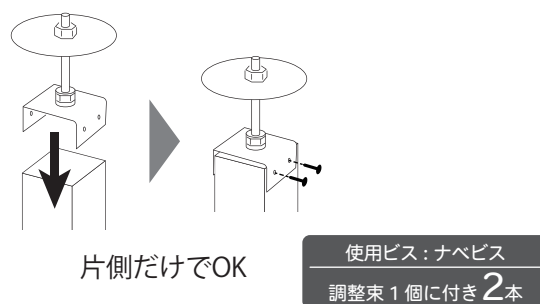
ロング束柱 下穴:φ3.5

長さL550以上の場合



ロング柱用の筋交金具を必ず使用して下さい。隣の束柱とビス固定します。

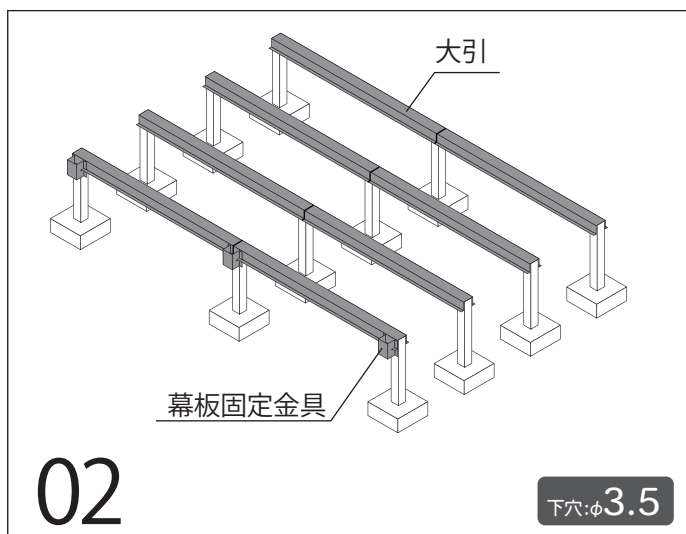
束柱調整金具 下穴:φ3.5



高さレベル調整は、上下のボルトを回して、円盤状の部品の位置を調整して下さい。

調整束金具の詳細は別紙説明書をご参照下さい。

大引の固定



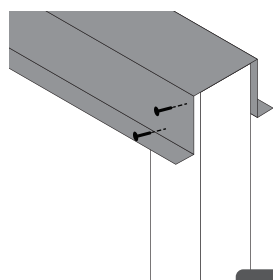
水平レベルを確認しながら束柱の上に大引を載せて、ビス固定します。

大引をカットした場合は、断面を防錆処理して下さい。

幕板固定金具を間口側の柱前に取り付けします。

大引：端部

下穴:φ3.5

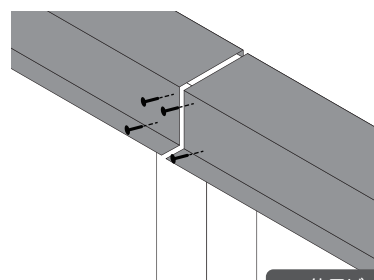


使用ビス：ナベビス
束柱 1本に付き 2本

大引と束柱を固定します。

大引：中間

下穴:φ3.5

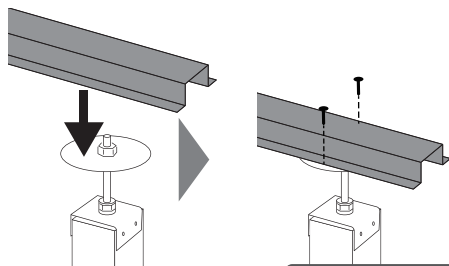


使用ビス：ナベビス
束柱 1本に付き 4本

柱の中心に、大引の継ぎ目が来るように合わせて、固定します。

調整金具使用時

下穴:φ3.5

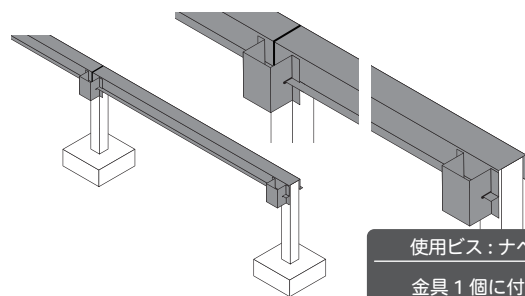


使用ビス：ナベビス
束柱 1本に付き 2本

大引と束柱を固定します。

幕板固定金具

下穴:φ3.5

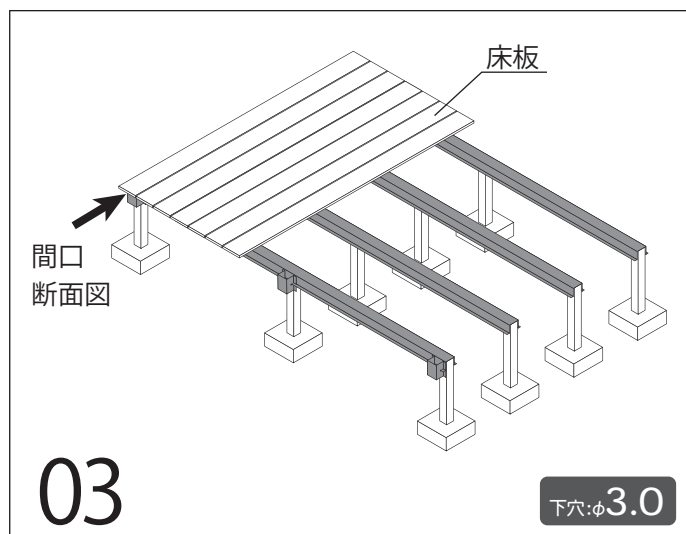


使用ビス：ナベビス
金具 1個に付き 2本

幕板固定金具をビス固定します。

調整束金具の詳細は別紙説明書をご参照下さい。

床板の固定について



端部にスタートクリップを固定して、床板と中間クリップを交互に並べて固定します
 中間クリップは床板側面の溝に滑らせることができるので、後から入れることも出来ます。
 床板同士のクリアランスは6mmです。床板面積に関係なく全体で合計6mmを寸法誤差と取り付け位置調整のため、設けています。
 側面幕板と床板のクリアランスは0mmを基本として、設置して下さい。

取り付け について

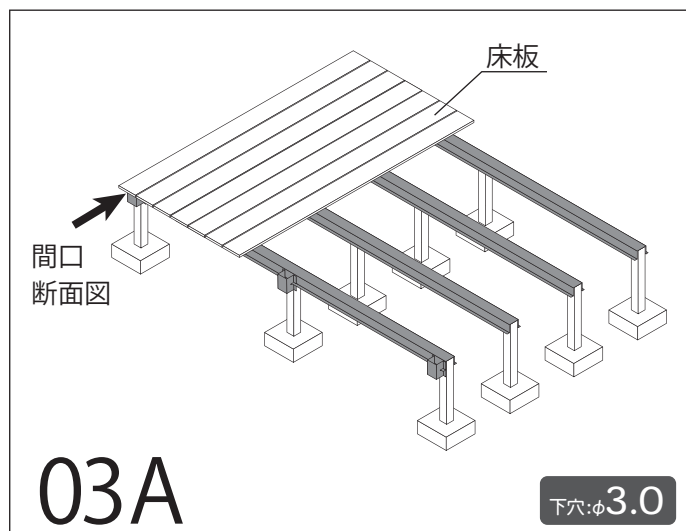
床板の取り付け方法は2種類から選べます。
 作業熟練度や現場状況に合わせて選んで下さい。
 A: 床板を先に全て並べる
 B: 床板を1枚ずつ固定する



注意

*インパクトドライバーのビットや皿ビスで、床板が傷ついてしまう場合があります。
 固定の際はトルクを加減して下さい。(＃1ビットを別途ご用意下さい。)
 *各手順を確認の上、実施して下さい。

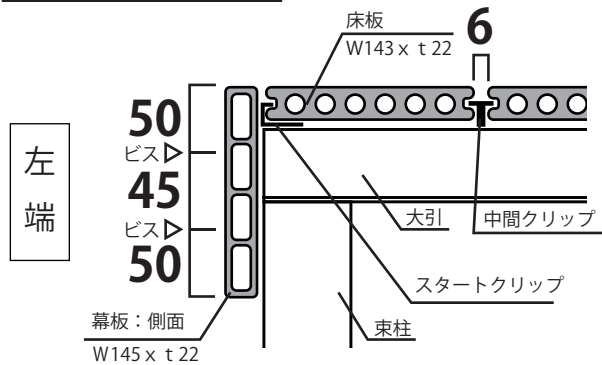
床板の固定：A



両端部のスタートクリップを先に固定します。
 両端部の床板の溝をスタートクリップに取り付けてから、床板を均等に並べます。中間クリップを床板の溝に滑らせて固定位置に合わせて下穴を開けます。ビスで床板を固定します。

床板の固定：A の続き

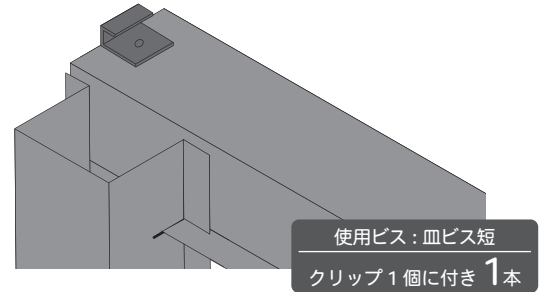
間口断面図



- ・床板と床板のクリアランスは6mm確保して下さい。
- ・床板ハネ出しは柱芯から200mm以内にして下さい。
- ・全体で5～6mm程度のクリアランスがあります。

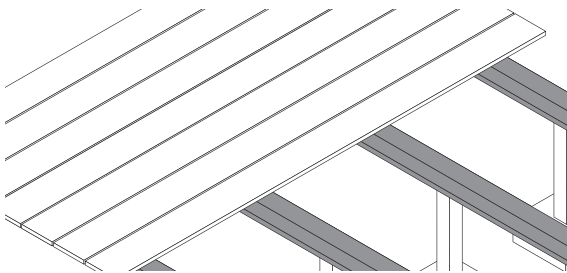
スタートクリップ

下穴:φ3.0



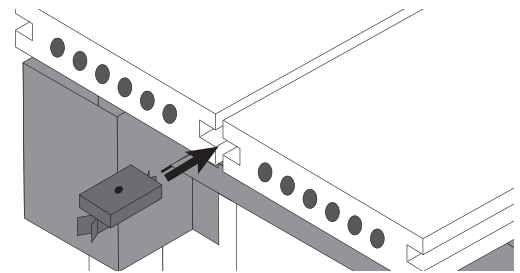
大引の両端部にスタートクリップを固定します。スタートクリップは両端部に使用します。

床板敷設



両端の床板をスタートクリップの溝を引っ掛けます。ゴムハンマーなどで軽く叩いて奥まで入れます。両端部の床板をはめたら、残りの床板を大引の上に並べます。

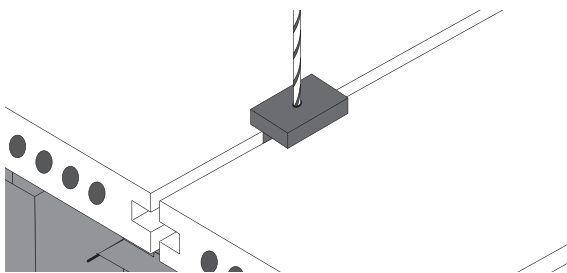
中間クリップ①



床板を並べて出来た溝に中間クリップを入れて、大引の上までそれぞれスライドさせます。

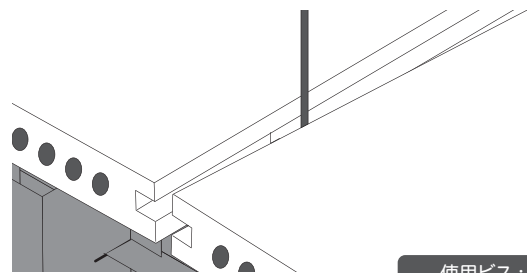
中間クリップ②

下穴:φ3.0



床板の溝にある中間クリップの場所に、別の中間クリップを新しく上から被せて、下穴を開けます。

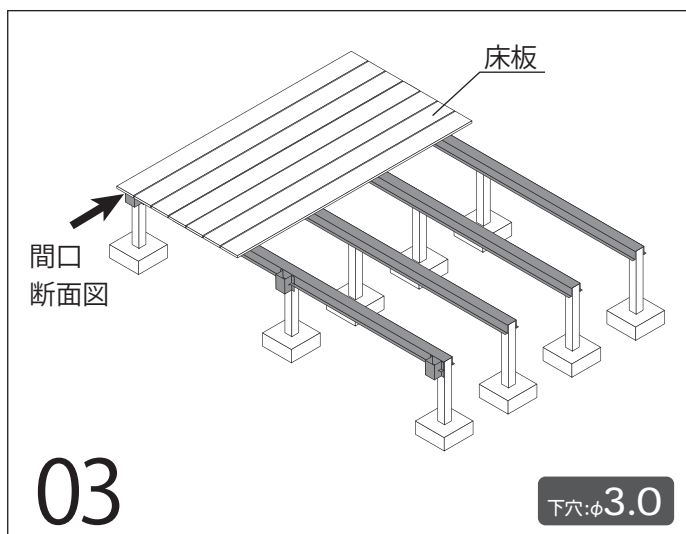
中間クリップ③



使用ビス: 皿ビス長
クリップ1個につき1本

床板を少しだけ持ち上げて、皿ビスを中間クリップと下穴に通します。トルク加減しながら(#1ビット推奨)で、固定していきます。

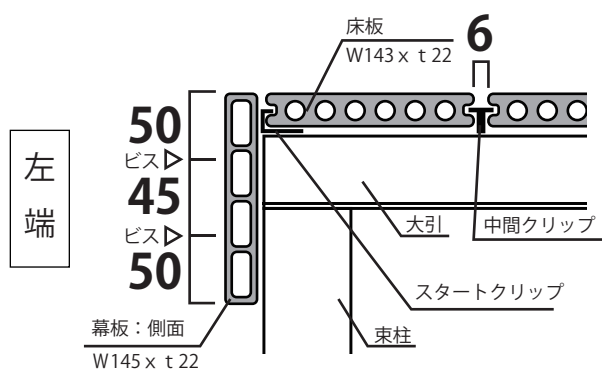
B: 床板の固定



クリップ固定のビスは、始めは緩めに固定します。
(幕板を取付後、増し締めします。)

端部にスタートクリップを固定して、床板をはめま
す。中間クリップを使い順番に床板を入れます。
最後は端部のクリップを先に固定し、中間クリップ
は溝に入れ、スライドさせます。下穴を開けるとキ
レイに取り付けられます。

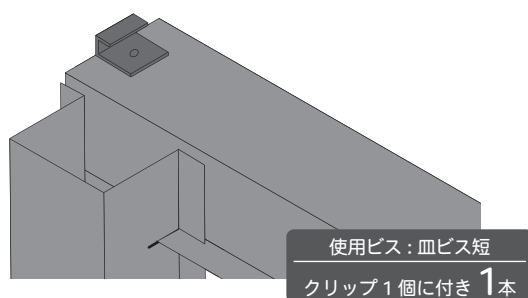
間口断面図



- ・床板と床板のクリアランスは6mm確保して下さい。
- ・床板ハネ出しは柱芯から200mm以内にして下さい。
- ・全体で5～6mm程度のクリアランスがあります。

スタートクリップ

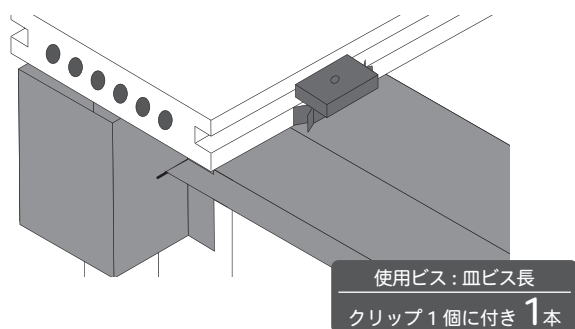
下穴:φ3.0



大引端部にスタートクリップを固定します。
スタートクリップは両端部だけに使用します。

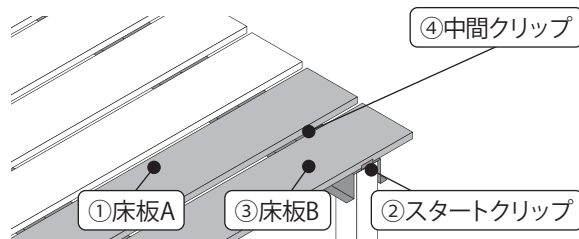
中間クリップ

下穴:φ3.0



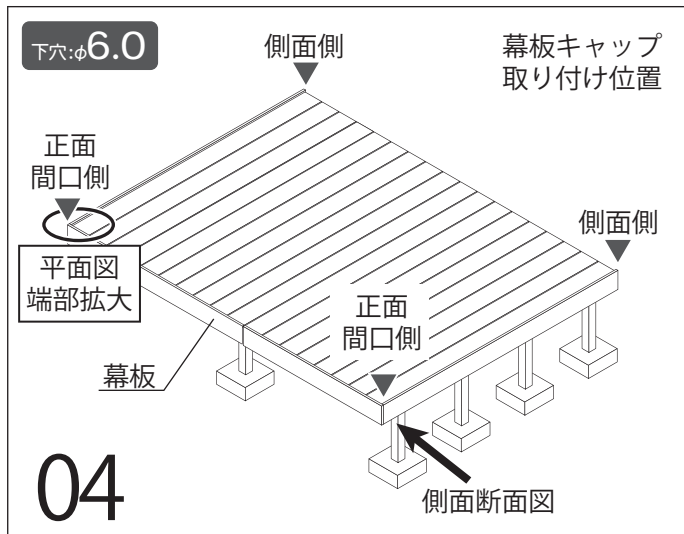
最初のスタートクリップに床板の溝を引っ掛
けます。反対側の溝には中間クリップを引っ
掛けて、ビス固定します。床板と中間クリッ
プを順につなげます。

最後2枚の取り付け順



- ①床板Aを入れます
- ②スタートクリップを付けます
- ③床板Bを入れます
- ④AとBの溝に中間クリップを入れ、大引
の位置まで、それぞれスライドしてから、
固定します。

幕板の固定



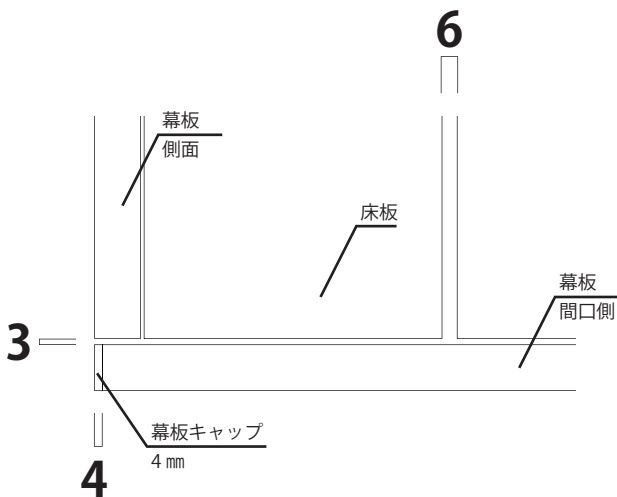
幕板同士のクリアランスは、6mm確保して下さい。
幕板をデッキサイズ、各クリアランスをに合わせ
てカットし、下穴をφ6.0であけます。

側面用の幕板は先にキャップを取り付け、幕板と
床板の天面を合わせて、束柱のある箇所にビス固
定します。

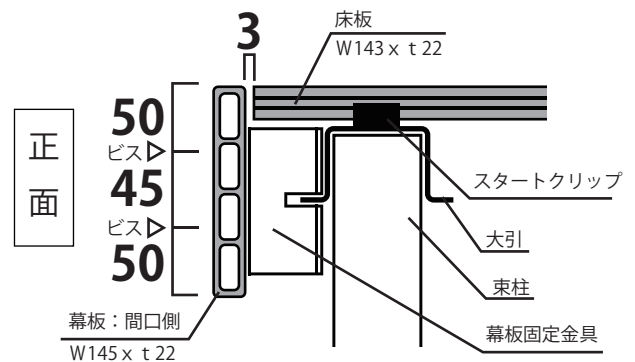
正面（間口側）は幕板固定金具のある箇所でビス
固定します。

幕板固定したら床板クリップのビスを締め直して
完了です。

平面図：端部拡大



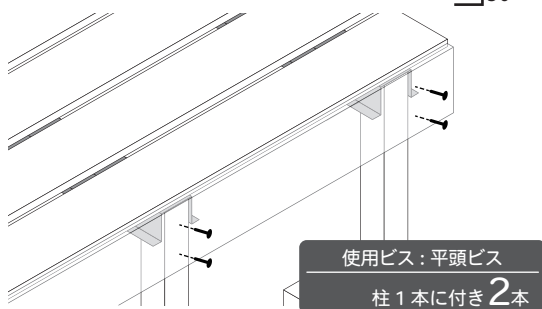
側面断面図



幕板：側面側

下穴:φ6.0

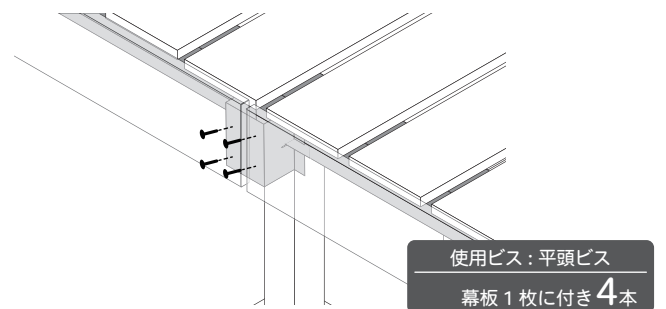
50
45
50



躯体側にキャップを差し込んでから、幕板を
ビス固定します。

幕板間口側

下穴:φ6.0



間口側の幕板を取り付けします。幕板同士の
クリアランスは6mmを確保して下さい。

補足

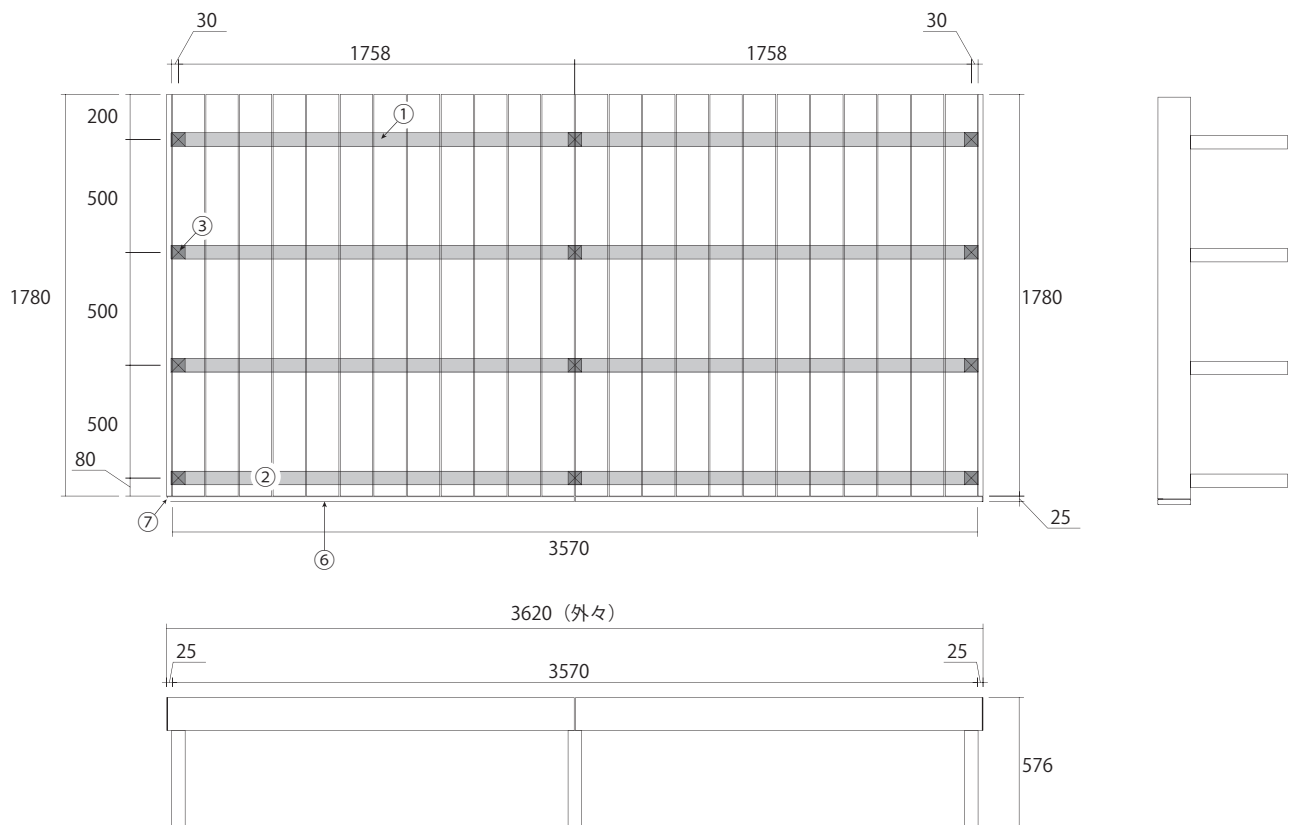
プラドデッキ部材品番リスト

| 部類 | 商品コード | 品名、サイズ | カラー | 最小単位 |
|---------------------|-------------|-------------|------------|---------|
| デッキ床板 床板梱包入数：3 | G40HDF020LB | デッキ床板L2000 | ウォルナットブラウン | 1枚 |
| | G40HDF020DU | | ダークアンバー | 1枚 |
| | G40HDF024LB | デッキ床板L2400 | ウォルナットブラウン | 1枚 |
| | G40HDF024DU | | ダークアンバー | 1枚 |
| デッキ幕板関連 幕板梱包入数：5 | G30HF2000LB | デッキ幕板L2000 | ウォルナットブラウン | 1枚 |
| | G30HF2000DU | | ダークアンバー | 1枚 |
| | G50HLK020LB | 幕板用キャップ | ウォルナットブラウン | 1袋：2個入 |
| | G50HLK020DU | | ダークアンバー | 1袋：2個入 |
| | G50HLB240WB | 4*40平頭ビス | ブラウン | 1袋：20本入 |
| | G50HD100 | 幕板用固定金具 | ブラック | 1個 |
| A50LD3613K | 側面幕板固定調整束用 | ダークアンバー | 1個 | |
| 柱関連 | A50LB0605K | 標準柱:L550 | ダークブロンズ | 1本 |
| | A50LB0609K | ロング柱:L900 | ダークブロンズ | 1本 |
| | G50HD020 | 束柱調整金具 | シルバー | 1個 |
| | A50LE2209K | ロング柱用筋交部材 | ダークブロンズ | 1本 |
| | A50LT011K | 柱固定用L金具セット※ | ダークブロンズ | 1セット |
| 大引関連 | G50HD1788 | L1788 | ブラック | 1本 |
| | G50HD1341 | L1341 | ブラック | 1本 |
| | A50KK216 | 4*16ナベビス | ダークブロンズ | 1袋：20本入 |
| 床板固定クリップ関連 | G50HD030E | スタートクリップ | ブラック | 1袋：10個入 |
| | G50HD030M | 中間クリップ | ブラック | 1袋：10個入 |
| | G50HD010 | スタートクリップ用ビス | ブラック | 1袋：10本入 |
| | G50HD025 | 中間クリップ用ビス | ブラック | 1袋：10本入 |

※柱固定用L金具セット：L金具×1、4*16ナベビス×5、6*30偏心プラグビス×5

プラドデッキ参考図

プラド/deck 2 間6 尺 (W3570 D1780) 標準柱



| No. | 部品 | 商品コード | 数量 |
|-----|----------------|-------------|----|
| ① | 大引 ブラック | G50HD1788 | 8 |
| ② | 幕板固定金具 | G50HD100 | 5 |
| ③ | 束柱 60 角 L550 | A50LB0605K | 12 |
| ④ | ビス:骨組用 (4x16) | A50KK216 | 3 |
| ⑤ | 床板 | G40HDF020LB | 24 |
| ⑥ | 幕板 (プラド /rich) | G30HF2000LB | 4 |
| ⑦ | キャップ:幕板用 | G50HLK020LB | 2 |
| ⑧ | ビス:幕板用 | G50HLB240WB | 2 |
| ⑨ | スタートクリップ | G50HD030E | 1 |
| ⑩ | 中間クリップ | G50HD030M | 10 |
| ⑪ | ビス:スタートクリップ | G50HD010 | 1 |
| ⑫ | ビス:中間用クリップ | G50HD025 | 10 |
| ⑬ | 束柱基礎定金具セット | A50LT011K | 12 |

プラドデッキ参考図一部

| | 2間 3570 | 2.5間 4464 | 3.0間 5358 |
|------------|------------------------------------|--|--|
| 3尺 900 | <p>30 1758 1758 30</p> <p>束柱 9</p> | <p>30 1311 1788 1311 30</p> <p>束柱 12</p> | <p>30 1758 1788 1758 30</p> <p>束柱 12</p> |
| 4尺 1200 | <p>束柱 9</p> | <p>束柱 12</p> | <p>束柱 12</p> |
| 5尺 1500 | <p>束柱 12</p> | <p>束柱 16</p> | <p>束柱 16</p> |
| 6尺 1780 | <p>束柱 12</p> | <p>束柱 16</p> | <p>束柱 16</p> |
| 7尺 2000 | <p>束柱 15</p> | <p>束柱 20</p> | <p>束柱 20</p> |
| 8尺 2400 | <p>束柱 18</p> | <p>束柱 24</p> | <p>束柱 24</p> |
| 9尺 2640 | <p>束柱 21</p> <p>3570</p> | <p>束柱 28</p> <p>4464</p> | <p>束柱 28</p> <p>5358</p> |